

期末評価・次期認定に向けての今後の審議の進め方について（案）

■これまでの作業部会における共同利用・共同研究拠点の在り方に関する議論 （作業部会における意見の反映）

- 共同利用・共同研究拠点に関する作業部会（以下：作業部会）において、昨年8月に実施した共同利用・共同研究拠点（以下：拠点）の中間評価を踏まえ、拠点の在り方や期末評価及び次期認定に関していただいたご意見【参考2～3】を含め、さる平成26年7月25日に科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会において、『共同利用・共同研究体制の強化に向けて（中間まとめ）』【資料3】がとりまとめられたところ。

■作業部会における今後の審議の進め方、スケジュール

【全体の流れ】

- 本作業部会の今後の審議については、「中間まとめ」における期末評価や次期認定についての方向性を踏まえ、議論を進める。
- また、既存拠点の期末評価や国立大学の第3期中期目標・中期計画期間の初年度となる平成28年からの次期認定に向けて、スケジュール（資料6）を検討するとともに、既存拠点の期末評価及び次期認定に係る方針（別紙）について検討する。
- 審議結果を踏まえ、期末評価や次期認定の規程等を策定し、それらに基づき、本作業部会において期末評価及び次期認定を実施。

【スケジュール】

- 具体的な今後の作業部会のスケジュールは以下のとおり。

【第7期 第5回（平成26年9月12日）】

- ・ 期末評価や次期認定に向けたスケジュールの検討
- ・ 期末評価及び次期認定の方針の検討

【第7期 第6回～（平成26年10月～平成27年1月）】

- ・ 期末評価や次期認定の方針の検討及び関係規定等の策定等
- ・ 共同利用・共同研究拠点関係者との意見交換

※ 1月までに2～3回開催

共同利用・共同研究拠点の評価・認定に当たっての方針

共同利用・共同研究拠点について、これまで実施してきた中間評価や認定に際しては、共同利用・共同研究拠点に関する作業部会において関係する基準等を策定している。

今回、平成26年7月25日に『共同利用・共同研究体制の強化に向けて（中間まとめ）』（科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会）が取りまとめられ、期末評価や次期認定に関する方向性が示されたところである。

そのため、中間まとめの方向性を基本としつつ、今後、本作業部会において実施する期末評価や次期認定に当たっては、既存の基準等の改訂や、新たな基準の策定を行う。

■ 期末評価について

現状、共同利用・共同研究拠点の評価に係る方針については、以下のとおり。

今後、本作業部会において、新たに「期末評価」の基準を策定。

（作業部会にて策定）

○ 『共同利用・共同研究拠点の中間評価要項』

（平成24年12月14日科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会共同利用・共同研究拠点に関する作業部会）

〔平成25年に実施した中間評価（8月取りまとめ）に際して策定〕

【参考4】

■ 次期認定について

現状、共同利用・共同研究拠点の認定に係る基準については、以下のとおり。

今後、本作業部会において、「次期認定」の基準として改訂。

（作業部会にて策定）

○ 『平成25年度からの共同利用・共同研究拠点に関する審議について』

（平成24年12月14日科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会共同利用・共同研究拠点に関する作業部会）

〔審議に当たっての主な観点として、平成24年度認定に際して策定〕

【参考5】

（規程）

○ 『共同利用・共同研究拠点の認定等に関する規程』【参考6】

（平成20年7月31日文科科学省告示第133号）